

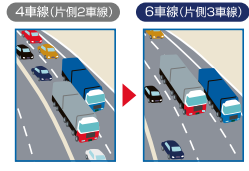
◆新名神高速道路における6車線化事業の整備効果



1 物流の効率化による生産性の向上

課題 新名神高速道路は開通以降、大型車の交通量が増加傾向にあります。また、交通の集中に伴う渋滞も増加傾向がみられます。

効果 6車線化によって、低速度の大型車と高速度の普通車の混在による速度低下や事故リスクを低減し、物流の効率化に寄与することができ、生産性の向上が見込まれます。



2 ネットワークの代替性強化による安定的な交通の確保

課題 名神高速道路は降雪・地震などの災害リスクポイントを抱えています。特に、琵琶湖西岸断層帯などの近隣地域では、地震発生時の機能停止が懸念されます。

効果 6車線化により、名神高速道路とのダブルネットワークの安定性が向上します。これによって、降雪や地震等の災害発生時に名神高速道路が通行止めとなった場合においても、新名神高速道路を代替路として利用することができ、安定的な交通を確保することができます。



3 名神リニューアル工事実施時における円滑な交通の確保

課題 名神高速道路は開通から50年以上が経過しており、今後リニューアル工事が本格化していきます。米原JCT～草津JCT間のリニューアル工事においては、主な迂回路が新名神高速道路となります。

効果 名神高速道路のリニューアル工事実施時に、う回車両により新名神高速道路の交通量が増加した場合でも、6車線化によって渋滞の発生を抑制し、名神高速道路を軸とした円滑な交通を確保できます。



◆事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と交通機能を適切に分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。NEXCO西日本新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津～城陽間)建設の滋賀県域：12.2 km及び甲賀土山～大津間の6車線化事業(28.5km)を担当しています。



◆新名神高速道路(大津～城陽間)滋賀県域：12.2kmの進捗状況

新名神(滋賀県域の新設区間)では、用地取得は完了し、埋蔵文化財調査は、90%以上が完了しています。工事は、全ての工事用道路工事を施工中で、本線工事についても、三区画全てにおいて施工中です。大津市南部の自治会で構成される大津市南部三区画新名神対策協議会においても、早期着手気運醸成があり、安全に留意し、早期開通を目指して、行政・地域の皆さまと一体となって事業を進めています。なお、新名神高速道路(大津～城陽間)(八幡京田辺～高槻間)の6車線化が事業化されました。

◆各地区の進捗状況(令和2年9月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区 間	進捗率 (%)	大津JCT～城陽JCT・IC(滋賀県域)(12.2km)											
		大津大石工区(5.8km)			大津田上工区(3.9km)				大津上田上工区(2.5km)				
学区名		大石学区(6.4km)			田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)				
自治会名 (km)		小田原町	龍門町	中町	東町	関津	里	枝町	森町	羽栗	新免	中野町	牧町
	用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	幅杭設置	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
	用地取得	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	埋蔵文化財調査	—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆
工 事 手	本 線	87	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
	工事用道路	—	◇	◇	◇	—	◇	◇	—	—	—	◇	◇



大津大石トンネル工事

トンネル施工中



田上枝工事

本線内土工及び仮橋工を施工中



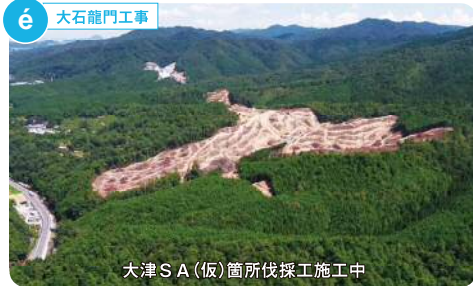
大津JCT西工事

下部工橋脚を施工中



大津JCT東工事

下部工橋脚を施工中



大石龍門工事

大津SA(仮)箇所伐採工施工中



信楽川橋東(下部工)工事

インクライン(建設資材運搬用のケーブルカー)を施工中



上田上中野工事

砂防堤工施工中



山城谷川付近(航空写真)

至:大津JCT(仮称)

至:城崎JCT-IC



天神川付近(航空写真)

至:大津JCT(仮称)

至:城崎JCT-IC



吉祥寺川付近(航空写真)

至:大津JCT(仮称)

至:城崎JCT-IC



大津JCT(仮称)付近(航空写真)

至:城崎JCT-IC

至:大津JCT

至:信楽IC

工事の状況



- : 橋梁区間
- : トンネル区間
- : 工事用道路

※この図は、航空写真・図面等により作成したイメージです。完成と異なることもあります。

NEXCO 西日本 NEWS

事業説明会の開催について

令和2年8月26日(水)、大津市民会館において、高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(新名神高速道路)新設工事に係る事業説明会を開催しました。

説明会では、周辺路線の渋滞緩和や、事故・災害時の代替路の確保、産業等の発展への寄与など、高速道路事業の目的や、工事の内容について説明がなされました。

今後も、安全を第一として、着実に事業を進めてまいります。



事業説明会の開催状況

NEXCO 西日本 NEWS

工事安全の取組み (安全大会総会の実施)

令和2年7月29日(水)、新名神大津事務所において、令和2年度安全大会総会を開催しました。事業進捗と共に工事関係者も増え、工事受注者16社が参加しました。

大会には大津労働基準監督署及び大津警察署からも出席いただき、過去に発生した建設現場や交通関係の事故事例やその対応策について解説していただきました。

工事安全の取組みを通じて、さらなる安全意識の向上を図り、災害ゼロを目標に工事を進めてまいります。



安全大会総会の実施状況

NEXCO 西日本 NEWS

第9回滋賀県域 自然環境保全検討会の開催

新名神大津事務所では、動植物の生息・生育環境に配慮した建設工事を行うため、滋賀県域自然環境保全検討会を開催しています。その第9回検討会を8月に開催しました。

当事務所では、動植物を保全するために移植を実施しております。本検討会では、移植地のモニタリング調査結果を踏まえて、今後の対応について検討しました。



水生生物を移植している状況

QUESTION 1

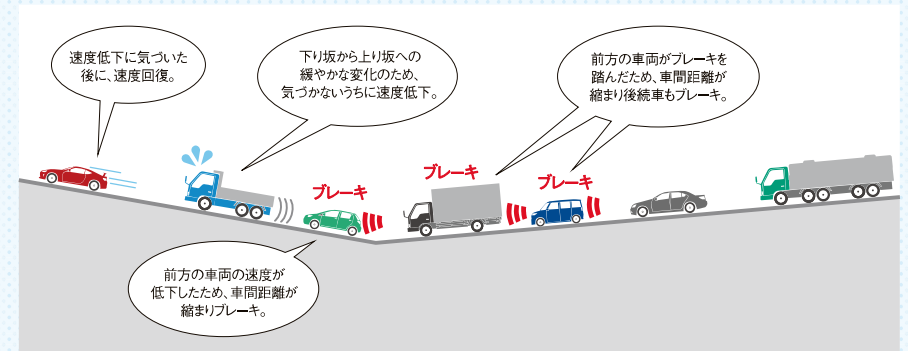
渋滞はなぜ起こるの?

高速道路における主な渋滞の原因は、交通の集中によるもの、工事の規制に伴うもの、交通事故によって発生するものの3つがあります。このうち、交通集中渋滞は、全国における全渋滞の約64%を占めています。

交通集中による渋滞が発生しやすいポイントはいくつかありますが、代表的なものを1つ紹介します。上り坂や「サグ」(下り坂から上り坂にさしかかるところ)です。ここでスピードが落ちてしま

車があると、後ろに続く車との車間距離が縮まります。こうなってしまうと後ろに続く車は危険なと思ってブレーキを踏み、その後ろの車もブレーキを踏み...と次々とブレーキを踏むことになり、結果渋滞が発生してしまいます。

その他にも、トンネルの入口やインターチェンジの合流部分などでは渋滞が起こりやすいです。



QUESTION 2

トンネルの非常口はどこにつながっているの?

高速道路のトンネルを走行中に、「非常口」の案内板をご覧になったことがありますか?

高速道路のトンネルでは、事故や火災が発生した際、トンネル外に避難できるよう非常口が設置されています。非常口は設置する基準が定められていて、トンネルの長さや交通方式(対面通行や上下線分離)によって設置する・設置しないを決めています。

この非常口ですが、別のトンネル(避難坑)とつながっているもの、あるいは反対車線のトンネルにつながっているものの2つがあります。緊急時にはここを経由して安全に避難できるようになっています。

